

様

『もしもの時の希望について、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)』

～アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは

あなたが将来、自分の考えを伝えられなくなった場合に備えて、受けたい医療やケアの希望を、家族や医療者などに伝えて文書に残す手順のことです～



あなたや家族の思うこれからの過ごし方について、私たち看護師やスタッフとともに一緒に考え共有しましょう。希望や思いは、時間とともに変化したり体の状態変化によって変わる可能性もあります。そのような変化があった場合は、その都度話し合っていきます。

① あなたの希望や思い・大切にしていることはありますか？
施設でどのように過ごしていきたいですか？

- 例えば、
- | | |
|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 趣味や楽しみ | <input type="checkbox"/> 食べること、食べたいものがある |
| <input type="checkbox"/> 外出したい | <input type="checkbox"/> 家族や大切な人との時間を大切にしたい |
| <input type="checkbox"/> ペットに会いたい | <input type="checkbox"/> 冠婚葬祭、催し物などに行きたい |
| <input type="checkbox"/> 苦痛なく過ごしていきたい | <input type="checkbox"/> 信じているものや宗教など |

② 今の体の状態や病気について、知っていますか？

- はい いいえ

③ 病気や今後どのような経過をたどるかなど、説明は受けていますか？聞いている内容や感じていることを教えてください。

- はい いいえ

(内容や感じていること:)

④ 受ける治療について、希望はありますか？

- 一日でも長く生きられるような治療がしたい
- 施設でできる範囲での治療や処置を望みたい
- 病気が悪化したときは病院での治療を望みたい
- できるだけ自然な形で最期を迎えられるような必要最低限の治療を受けたい
- その他()

《施設でできる治療や処置について》

医師が希望を確認しながら
状態に合わせ判断いたします。



〈点滴治療について〉※1

⇒口から食べることや水分をとることが出来なくなった場合、手足から点滴のための針を刺して水分補給を行います(栄養はほとんど入りません)。

〈中心静脈栄養について〉※2

⇒口からの栄養摂取が難しく点滴では栄養が足りない時、痛み止めなど薬剤でのコントロールが必要な場合に、医師がそけい部や鎖骨下、頸部(稀にあり)などの太い血管に麻酔を行いカテーテルを挿入し、高カロリー輸液を行う方法です。

メリット:通常の点滴では補えない高カロリーの点滴により、確実に栄養を摂取できる。何度も針を抜き刺すの必要なく、長期的利用ができる。入浴は可能です。

デメリット:カテーテル挿入部からの感染を起こすことがある。カテーテルや点滴ルートの変塞で詰まることがある。消化機能が低下し嘔吐や下痢、口腔内炎症などが起こることがある。自己抜去により出血する恐れがある。

〈経管栄養について〉※3

⇒胃ろう:造設する場合、病院に一時的に入院が必要となります。内視鏡を使っておなかと胃の壁に小さな穴を開け、その穴に抜けないようにチューブを通す処置が行われます。そのチューブから栄養剤を注入する方法です。

⇒経鼻胃管:鼻から胃または腸まで届くチューブを入れて、栄養剤を注入する方法となります。

〈在宅酸素〉

⇒呼吸状態の悪化や酸素飽和度の低下により酸素を使用する場合があります。施設では酸素5Lまで使用することができます。移動する場合は携帯酸素をご準備致します。

〈吸引〉

⇒痰が多くなった場合使用します。常時必要となった場合は、自費レンタルの対応となり5000~6000円/月の費用がかかります。必要時お声かけさせていただきます。

〈その他〉

stomasの管理、ドレーン管理、尿管カテーテル、導尿、気切・人工呼吸器管理、腹水穿刺、インスリン管理、褥瘡処置、疼痛コントロール、看取りなど対応しています。

※施設では病院と異なりさまざまな薬剤や医材などはなく、基本的に定期検査なども行なっておりません。

モニターはありません。

* 対症療法、苦痛を最小限に穏やかに過ごしていただくために医師と連携し対応してまいりますので、ご相談の際はお気軽にお問い合わせください。

